三菱 UFJ国際投信株式会社東京都千代田区有楽町一丁目12番1号金融商品取引業者関東財務局長(金商)第404号加入協会-般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

## 『百戦錬磨の名人ファンド』設定について

~国内唯一の報酬体系\*を導入~

この度、三菱UFJ国際投信株式会社(取締役社長 松田 通)は国内唯一の報酬体系を導入した『百戦錬磨の名人ファンド』を2020年9月23日(水)に設定、運用を開始いたします。また、同日からインターネットを通じた投資信託の直接販売サービス「三菱UFJ国際投信ダ

イレクト "mattoco(マットコ)"」にて取り扱いを開始いたしますので、ファンドの特色やキャンペーンの概要等についてお知らせいたします。

本ファンドは、日本の株式の「買い」と「売り」を組み合わせ、株式市場全体の値動きに左右されない安定的な収益の確保(絶対収益の追求)をめざします。

信託報酬は「①基本報酬」と「②成果報酬」の2つからなり、「①基本報酬」は受託会社に支払う、純資産総額に年率0.044%(税抜 年率0.040%)を乗じた額のみで、委託会社および販売会社への支払いはございません。

一方、「②成果報酬」は成果報酬控除前基準価額が実質的な過去最高値を超えた場合にかぎり、超えた額の 15%である成果報酬単価に受益権総口数を乗じた額(消費税等を含みます)を委託会社が受け取るスキームで、本ファンドを保有いただいている全てのお客さまに利益が出ている場合にのみ、委託会社に支払われる「成果報酬型」のファンドです。運用益に応じた報酬を運用を行う委託会社へ支払うという当ファンドのスキームは、信託報酬に対するコスト意識が高く、かつ、中長期で安定した収益の確保を望まれているお客さまにぜひご活用いただきたいと考えています。

\* 本ファンドではお客さまからいただく報酬を、運用を行う委託会社の成果報酬と受託会社の基本報酬のみとしています。このような報酬体系をもつファンドは、2020 年 9 月 7 日時点で国内公募追加型株式投資信託(ETF 除く)の中で唯一です。なお、その他費用もかかりますので、詳細は P6 をご覧ください。

商品分類				属性区分				
単位型·追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	補足分類	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	特殊型
追加型	国内	株式	特殊型 (絶対収益 追求型)	その他資産	年2回	日本	ファミリー ファンド	絶対収益 追求型

※属性区分の「投資対象資産」に記載されている「その他資産」とは、投資信託証券(株式 一般)です。

※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(http://www.toushin.or.jp/)でご覧いただけます。

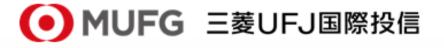
■委託会社(ファンドの運用の指図等、購入・換金の取扱い等)

■受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ国際投信株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)



ともに、その先へ。

# ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

日本の株式を実質的な主要投資対象とし、株式の信用取引等を組み合わせて、株式市場全体の値動きに左右されない安定的な収益を確保し、お預かりした資産の着実な成長をめざします。

### ファンドの特色



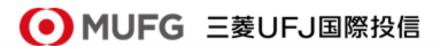
日本の株式の「買い」と「売り」を組み合わせ、株式市場全体の値動きに左右されない安定的な収益の確保(絶対収益の追求)をめざします。

- 株式の「買い」と「売り」\*を組み合わせて株式市場全体の価格変動リスクを低減させつつ、「買いポートフォリオ」における株式市場全体を上回る部分の収益と、「売りポートフォリオ」における株式市場全体を下回る部分の収益の確保をめざします。
  - \* 当ファンドの「買い」は株式現物の買付け、「売り」は信用取引による株式の売建てを行います。
  - ※このような運用戦略を一般的にはマーケットニュートラル戦略と呼びます。

株式市場全体の価格変動リスクを低減させた場合のメリット・デメリット

メリット	デメリット			
株式市場全体の下落の影響を受けない。	株式市場全体の上昇に追随しない。			

- ※上記はすべてを網羅したものではなく、また、この通りとならない場合があります。また、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
- □ 信用取引とは、資金や株式を借りて売買する取引です。ファンドは、証券会社に一定の保証金(委託保証金)を担保として差し入れ、売付けに必要な株式を証券会社から借りて売却を行います。なお、信用取引では、コストが掛かるほか制限が課せられる場合もあります。
- 当ファンドは株式市場の全体の値動きに左右されない安定的な収益の確保(絶対収益の追求)をめざしますが、収益 獲得の達成を保証等するものではありません。
- 株式市場全体の価格変動リスクの低減が行えない場合や、「買いポートフォリオ」が株式市場全体を下回ることや、「売りポートフォリオ」が株式市場全体を上回ることで損失を被る場合がありますので、ご留意ください。



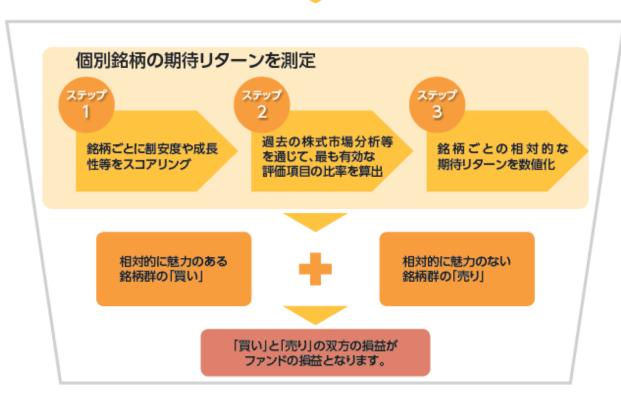


### 相対的に魅力のある銘柄を「買い」、相対的に魅力のない銘柄を「売る」 投資戦略を用います。

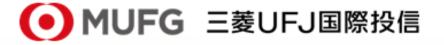
● 計量モデルを用いて個別銘柄の持つ期待リターンを測定し、相対的に魅力のある銘柄群を「買いポートフォリオ」、相対的に魅力のない銘柄群を「売りポートフォリオ」に分けて投資します。

### <運用プロセス>

#### 日本の株式



- 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する 銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記プロセスは、今後変更されることがあります。
- 委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページ (https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html)でご覧いただけます。

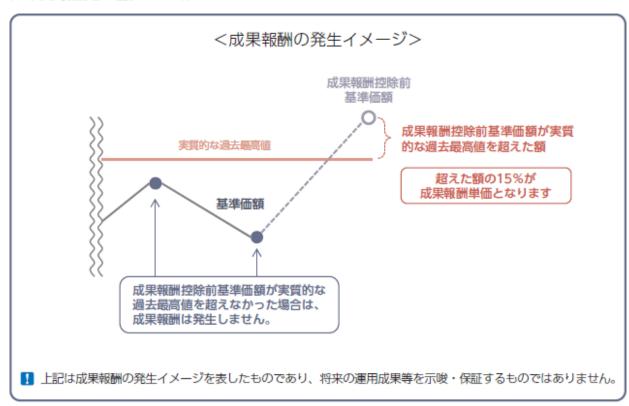




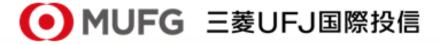
### パフォーマンスが実質的に過去最高となった場合にかぎり、 委託会社が受け取る信託報酬(成果報酬)が生じます。

- 成果報酬\*1は、成果報酬単価\*2(成果報酬控除前基準価額が実質的な過去最高値\*3を 超えた額の15%)に受益権総□数をかけた額です。
  - \*1 別途、相当する消費税等がかかります。
  - \*2 成果報酬単価は1円単位のため、1円に満たない場合は成果報酬は発生しません。
  - \*3 成果報酬の算出の基準となる価額です。

(成果報酬控除前基準価額や実質的な過去最高値などを含めた成果報酬についての詳細は、「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご確認ください。)



- 基本報酬(受託会社が受け取る報酬)は、日々の純資産総額に対して、年率0.044% (税抜年率0.04%)をかけた額です。
  - 日々の基準価額は信託報酬(基本報酬および成果報酬)や経費が反映された後の価額です。したがって、成果報酬の支払い時(毎計算期末または信託終了時)や一部解約時に成果報酬が基準価額から差し引かれるものではありません。
  - 1 成果報酬は発生日の基準価額に計上されるため、翌営業日以降、基準価額が下落しても、繰り戻されることはありません。



#### ■分配方針

- 年2回の決算時(2・8月の各24日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

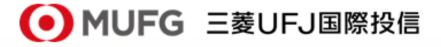
分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 (初回決算日は、2021年2月24日です。)

市沢動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による、組入株式の価格変動および売り建てた株式の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク(マーケットニュートラル戦略に関するリスクを含む)、信用リスク、流動性リスクです。なお、ファンドは、実質的に日本の株式に投資する(ロング・ポジション)とともに、信用取引を用いた株式の売建て(ショート・ポジション)を組み合わせて株式市場全体の変動の影響を抑え安定的な収益を確保することをめざすマーケットニュートラル戦略をとっているため、株式市場全体の上昇が必ずしも収益の要因となるわけではありません。そのため、ロング・ポジションの利益がショート・ポジションの損失より小さい場合、あるいはロング・ポジションの損失がショート・ポジションの利益より大きい場合には損失が発生し、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。特に、ロング・ポジションの株価が下落する一方、ショート・ポジションの株価が上昇した場合には、基準価額が大幅に下落することがあります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。





#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 ありません。 信託財産留保額 ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)の総額は①基本報酬と②成果報酬の合計となります。

#### 事本報酬

日々の純資産総額に対して、**年率0.044%(税抜 年率0.040%)**をかけた額

1万口あたりの基本報酬:保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 ×(保有日数/ 365)

- ※ 上記計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。
- 基本報酬は、ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の役務の対価として 受託会社に支払われます。

#### ②成果報酬

毎営業日に、当該営業日の成果報酬控除前基準価額が「成果報酬の算出の基準となる価額(実質的な過 去最高値)」を超週した場合に、その超週分に対して**16.5%(税抜15.0%)**の率をかけた額\*に当該営業日 における受益権総□数をかけた額です。

\*超過分に対して税抜15%の率をかけた額(成果報酬単価)に1円未満の端数がある場合は、これを切捨 てた額に消費税等がかかります。

#### 運用管理費用 (信託報酬)

その他の費用・

手数料

- ・成果報酬控除前基準価額とは、成果報酬(税込)を控除する前の純資産総額を受益権総口数で除した金 額です。ただし、収益の分配を行う場合は、成果報酬(税込)および収益分配金を控除する前の純資産総 額を受益権総□数で除した金額です。
- ・成果報酬の算出の基準となる価額は、設定日においては101円です。
- ・設定日の翌営業日以降の成果報酬の算出の基準となる価額は、以下の通りとなります。
- イ. 前営業日に成果報酬が発生しなかった場合
  - a.前営業日に収益の分配を行わなかった場合:前営業日と同額
  - b.前営業日に収益の分配を行った場合
- :前営業日の成果報酬の算出の基準となる価額から前 営業日の収益分配金(10当たり)を控除した額
- ロ.前営業日に成果報酬が発生した場合

a.前営業日に収益の分配を行わなかった場合:前営業日の成果報酬控除前基準価額から前営業日の 成果報酬単価およびそれに係る消費税等相当額を控

除した額

b.前営業日に収益の分配を行った場合

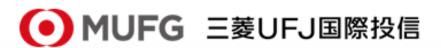
:前営業日の成果報酬控除前基準価額から前営業日の 成果報酬単価、それに係る消費税等相当額および前営

業日の収益分配金(1口当たり)を控除した額

・成果報酬は、ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の役 務の対価として委託会社に支払われます。

以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。

- 監査法人に支払われるファンドの監査費用
- ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
- ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
- ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等
- ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記 載することはできません。
- ※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファ ンドから支払われます。
- ※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできま せん。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。



ともに、その先へ。

### 本気の資産作り応援キャンペーンについて

"mattoco(マットコ)"は、『百戦錬磨の名人ファンド』を通じてお客さまの本気の資産作りを応援します。

2020 年 9 月 23 日(水)~2021 年 3 月 31 日(水)のキャンペーン期間中に「百戦錬磨の名人ファンド」を 50 万円以上ご購入いただいたお客さまに、ご購入金額に応じて最大 5 万円分の Amazon ギフト券をプレゼントします。

各種条件がございますので、詳細は <u>WEB サイト</u>をご確認ください。)

### お金にまつわるもやもや、解消しませんか?【参加無料】オンラインセミナー開催中!

●どんなときもプラスを目指す、百戦錬磨の名人ファンドの魅力

2020年 9月30日(水) 19:00~19:40

2020年10月14日(水) 19:00~19:40

2020年10月28日(水) 19:00~19:40

●コロナ禍でも動じない!運用会社社員が実践している資産形成とは 2020年10月21日(水) 19:00~19:40

これらセミナーには、金融商品取引契約を誘引する目的もございます。

詳細・お申し込みはこちら >>> https://direct.mattoco.jp/seminar/

>> 「百戦錬磨の名人ファンド」はこちら

https://direct.mattoco.jp/lp/meijin01/index.html

■当資料は、プレスリリースとして三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先> 三菱UFJ国際投信 経営企画部 電話 (03)5221-5684

